

異なる場所や時代に生きる人の考え方を学びたい方に

文化人類学って どんな分野だろう？

文化人類学は、世界の様々な地域の文化(=日常生活)を通して人間について考えようとする学問です。その際に、現地の言葉をも身につけ、住み、ともに生活することで「文化」を理解しようとし、異なる文化を学ぶことを通して、自分たちの文化を考え直してみませんか？

横田 浩一 准教授

- 出張講義分野
文化人類学、現代中国社会研究
- 研究分野のキーワード
文化人類学、中国社会、食文化
- 専門分野
文化人類学、現代中国社会研究



大学ではこんなことを研究しています

私は、中国社会での文化人類学的研究を行っています。中国には56の民族が定められています。その中で多数派は漢族です。しかし漢族の中でもさらに言語や習慣、自己認識の異なる集団があります。そのような、細分化された地域文化や自己認識とされるものがどのように形成されてきたのかを分析しています。

先生からメッセージ

文化人類学を学ぶことで2つの視点を獲得できます。1つ目は、自分たちとは異なる考えの人々(=他者)も、その社会における合理性の中で生きていることを学ぶことができるという点です。2つめは他者の視点を通じて自分たちを相対化することができるという点です。私たちが「当たり前」だと思っている習慣や制度、価値観は、時間的にも空間的にもそれほど当たり前ではないことが多いです。異なる文化を学ぶことを通して、自分たちの「当たり前」を考え直すことができる視点を文化人類学は提供しています。

略歴 首都大学東京大学院人文科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。博士(社会人類学)。人間文化研究機構人間文化創発センター研究員などを経て、2026年4月より現職。